

表1 てんさいおよびばれいしょの土壌表層の腐植含量推定値と NDVI の線形回帰結果

作物	項目	正の相関*	負の相関*	その他	計
てんさい	圃場数(割合, %)	20(34.5)	14(24.1)	24(41.4)	58
	相関係数の平均(標準偏差)	0.39(0.17)	-0.42(0.15)	0.00(0.11)	
	土壌腐植含量推定値の平均(標準偏差), g/kg	122(18)	118(23)	118(22)	
ばれいしょ	圃場数(割合, %)	31(47.7)	10(15.4)	24(36.9)	65
	相関係数の平均(標準偏差)	0.42(0.12)	-0.32(0.12)	0.00(0.13)	
	土壌腐植含量推定値の平均(標準偏差), g/kg	122(20)	111(20)	118(20)	
計	圃場数(割合, %)	51(41.5)	24(19.5)	48(39.0)	123

*P<0.01

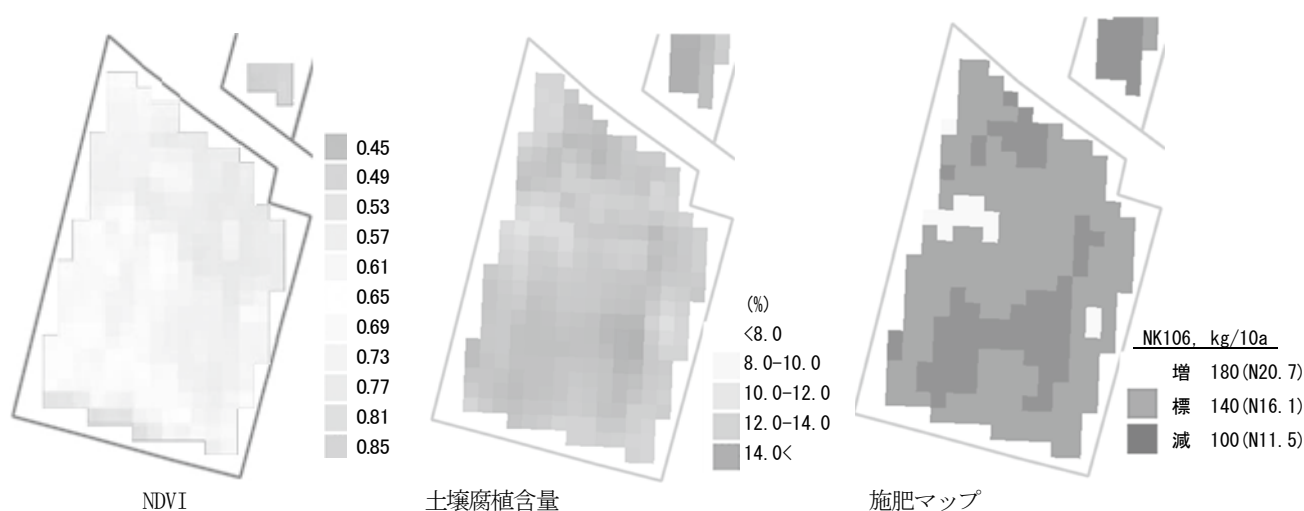


図1 基肥可変施肥試験供試圃場で作成した施肥マップ

表2 キャベツ基肥可変施肥試験の結果

	2020年						2021年						2022年					
	腐植 含量 (%)	基肥 窒素 (kg/10a)	6/19定植 1球重 (g)	6/24定植 収量 (t/10a)	6/24定植 1球重 (g)	6/24定植 収量 (t/10a)	腐植 含量 (%)	基肥 窒素 (kg/10a)	6/3定植 1球重 (g)	6/16定植 収量 (t/10a)	6/16定植 1球重 (g)	6/16定植 収量 (t/10a)	腐植 含量 (%)	基肥 窒素 (kg/10a)	5/10定植 1球重 (g)	6/13定植 収量 (t/10a)	6/13定植 1球重 (g)	6/13定植 収量 (t/10a)
可変 施肥 区	12	16.1	2,504	10.8	2,492	10.8	12	20.7	1,605	6.8			7	20.7	2,065	8.7	2,242	9.4
	13	11.5	2,629	11.4	2,527	10.9	13	16.1	1,363	5.6	1,294	5.4	11	16.1	2,129	8.5	2,205	9.3
	14	8.1	2,573	11.1	2,493	10.8	14	11.5		1,672	7.0		15	11.5	2,073	8.7	2,150	9.0
定量 施肥 区	12	11.5	2,379	10.3	2,376	10.3	12	16.1	1,226	4.7			7	16.1	1,955	8.2	2,057	8.7
	13	11.5	2,506	10.8	2,470	10.7	13	16.1	1,307	5.2	1,276	5.2	11	16.1	2,161	7.1	2,196	9.2
	14	11.5	2,437	10.6	2,473	10.7	14	16.1		1,568	6.5		15	16.1	1,913	8.1	2,117	8.9
可変施肥区平均			2,569	11.1	2,504	10.8			1,524	6.4	1,546	6.5			2,089	8.6	2,199	9.3
			cv17.2% (105)	cv14.7% (103)					cv20.4% (130)	cv14.2% (107)					cv16.1% (111)	cv10.8% (104)		
定量施肥区平均			2,441	10.6	2,440	10.6			1,253	4.9	1,470	6.1			2,002	7.8	2,122	8.9
			cv18.9% (100)	cv15.6% (100)					cv21.8% (100)	cv19.8% (100)					cv16.2% (100)	cv13.8% (100)		

注) 品種「おきな」、畦間66cm×株間36cm、調査数は各区1箇所20球、収量は出荷規格1球重900g以上の規格内収量、

cvは可変施肥区および定量施肥区で調査した全ての1球重から算出

基準窒素施肥量は、現地で指導されている水準に基づき、土壌腐植含量の差1~4%の範囲で3段階に分類し、±4kg/10aとした。

なお、2020年は作付け前に堆肥を施用したため、基準施肥量を減肥した。

詳しい内容については、次にお問い合わせください。

道総研十勝農業試験場 農業システムグループ

電話 (0155) 62-2431 E-mail: tokachi-agri@hro.or.jp